

みさと議会だより

■発行：秋田県美郷町議会

■編集：議会広報常任委員会

議会トップページへ▶



No.

86

2025.11.1

チーム美郷町議会 新たな挑戦



議会のうごき

8月29日から12日間の日程で開催された9月定例会では、令和6年度決算を認定したほか、令和7年度補正予算と条例改正、人事案件などを審議し、全て原案のとおり可決しました。9月8日の一般質問には、議員4人が登壇しました。

9月16日に告示された美郷町議会議員選挙は、定数14のところ立候補者は13人にとどまり、全員が無投票当選となりました。議員の任期は、令和7年10月1日から4年間です。



▲新しい議席番号で着席

10月6日には、改選後初の臨時会が開かれました。

議会構成 決まる

10月6日の初議会では、議長と副議長を投票により選出した後、各委員会の構成を決めました。

議長選挙では高橋邦武議員が所信表明を行いました。投票の結果は、高橋邦武議員11票、無効2票となり、高橋邦武議員が議長に選出されました。

副議長選挙では村田薫議員と深澤均議員が所信表明を行いました。投票の結果は、深澤均議員8票、村田薫議員3票、無効2票となり、深澤均議員が副議長に選出されました。

議長と副議長の任期は4年、各委員会の所属任期は2年です。

ごあいさつ



議長

たか はし くに たけ
高 橋 邦 武

この度、第7代議長に就任することになりました。誠に光栄に存じますとともに、職責の重大さを実感しております。

美郷町が誕生し21年、人口は減少していますが、令和7年8月に実施した町民アンケートでは、「住みやすい」と答えた方が増加しています。

議会としては、引き続き町と議論しながら、さらに愛着や誇りを感じるまちづくりのほか、産業の振興に邁進してまいります。

今回の改選では、思いもかけず定数割れの事態となりました。定数と報酬のあり方、議員のなり手不足への対応を検討し、実行しなければなりません。

広聴の充実のため、町民との意見交換の場を設け、意見・要望を行政事務や議会活動に反映させてまいります。

今後とも、「チーム美郷町議会」に対し、御支援を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。



副議長

ふか きわ ひとし
深 澤 均

この度、初議会におきまして副議長に就任することになりました。改めて責任の重さを痛感しております。

今回の議会改選において、定数割れした現実には大きな危機感を持っています。町民からの様々な落胆の声に接し、美郷町議会の最大の課題は、町の将来を担う人材が誇りをもって議会に参加できる環境づくりであると考えます。町民と一緒に、議員のなり手不足解消に取り組んでまいります。

また、開かれた議会として念願であった議会録画中継が令和8年度より実現いたします。スマートフォンさえあればいつでもどこでも美郷町議会を視聴できますので、是非ご覧いただきたいと思います。

結びに、議会が町民の信頼に応えられるように一生懸命努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



総務産業常任委員会 7名

長谷川幸子 森元 淑雄 高山 茂雄 高橋 邦武
松田 信義 熊谷 良夫 澁谷 俊二
(委員長) (副委員長)

総務、財政、税務、企画、農林、農地、商工、観光、労働、土木、建築、都市計画、住宅、上下水道などの調査並びに議案及び請願、陳情等の審査



教育民生常任委員会 6名

高橋 正和 深沢 義一 深澤 均
高橋 純 鈴木 正洋 村田 薫
(委員長) (副委員長)

教育、文化、厚生、社会福祉、保健衛生、消防その他の教育民生に関する調査並びに議案及び請願、陳情等の審査



議会運営委員会 6名

澁谷 俊二 村田 薫 深澤 均
熊谷 良夫 深沢 義一 森元 淑雄
(委員長) (副委員長)

議会の会期日程、内容等の審査、議会運営に関する諸般の協議・調整



議会広報常任委員会 6名

松田 信義 鈴木 正洋 高山 茂雄
高橋 正和 長谷川幸子 高橋 純
(委員長) (副委員長)

議会広報紙の取材、編集及び発行などの広報活動

大曲仙北広域市町村圏組合 議会議員

高橋 邦武 高橋 純
澁谷 俊二 深沢 義一

大仙美郷介護福祉組合 議会議員

高橋 邦武 深澤 均
鈴木 正洋

秋田県後期高齢者医療 広域連合議会議員

高橋 邦武

美郷町議会議員 13名

13番	高橋 邦武 (議長)	1番	高橋 純	5番	松田 信義	9番	鈴木 正洋
		2番	高橋 正和	6番	村田 薫	10番	高山 茂雄
12番	深澤 均 (副議長)	3番	熊谷 良夫	7番	長谷川 幸子	11番	深沢 義一
		4番	澁谷 俊二	8番	森元 淑雄		

定例会 (9月)



予算 地域おこし協力隊の募集費用などを可決

9月定例会で上程された各会計の補正予算を可決しました。

一般会計には、プライマリーバランス確保のための繰上償還元金として、7億92万円が計上されました。

一般会計に計上された主な事業は、**地域おこし協力隊の募集等に関する費用**（129万円）、**旧わくわく園跡地の宅地造成に伴う上水道の設計費用**（630万円）、**子ども子育て支援拠点施設の愛称募集に係る費用**（3万円）、タイ王国との中学生交流の事業（23万円）、町道の舗装補修（1億8130万円）など。公衆トイレに関する事業費（4号中段）、新型コロナウイルスワクチン接種の事業費（4号下段）も計上されました。

令和7年度 補正予算

会計名	補正総額	補正後累計
一般会計	9億5584万円	130億7384万円
国民健康保険特別会計	724万円	21億2136万円
下水道事業特別会計	312万円	2億5025万円
農業集落排水特別会計	220万円	1億8855万円
後期高齢者医療特別会計	166万円	2億6510万円
水道事業会計 収益的支出	24万円	3億8090万円

定例会 (9月)



予算 馬町トイレを解体、土崎は野球場のトイレに

利用を休止している公衆トイレに関する予算を可決し、関連する「美郷町公衆トイレ設置条例」の一部改正も可決しました。

馬町公衆トイレは、解体工事に係る費用（220万円）が予算に計上されました。

土崎地区公衆トイレは、生涯学習課が管理する北運動公園野球場の付帯施設に変更となり、野球場を使用する際には利用できます。施設で使われる水道光熱費が予算に計上されました。



解体される馬町公衆トイレ



土崎地区公衆トイレは野球場の付帯施設に

定例会 (9月)



予算 新型コロナウイルスワクチン定期接種の約半額を助成

新型コロナウイルスワクチンの接種事業費として553万円が予算に計上されました。

新型コロナウイルスワクチンの定期接種は、高齢者等を対象に10月1日から始まり、令和7年度の助成額は7800円となります。

議員からは「**6年度は5000円ぐらいだった自己負担額が、7年度は約8000円と高くなる。**コロナの検査代もかなり高いので、その助成も含めて検討してほしい」という質疑がありました。町当局からは「**7年度は国からの助成がなくなった。美郷町は、他の定期接種と同様に、助成割合を5割程度に設定した。**検査代への助成は実施したことがなく、現在のところ行う予定はない」という答弁がありました。



定例会 (9月)



財産

旧今泉住宅を土地付きで譲与

旧今泉住宅（木造平屋建3棟・平成6年建築）の無償譲与について、可決しました。

町有地の売却と一体で建物を譲与する条件で一般競争入札が執行され、相手方が決まりました。農業用事務所等に利用されます。



旧今泉住宅

採決結果

第9回議会定例会（9/9）

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。議長は採決には加わりません。

◎陳情第50号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	熊谷隆一	村田薫	鈴木正洋	藤原政春	高山茂雄	高橋邦武	深澤均	伊藤福章	高橋正和	泉美和子	深沢義一	熊谷良夫	澁谷俊二	長谷川幸子	鈴木良勝	森元淑雄	
	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	○		不採択

一般質問 (9月定例会)



たか はし くに たけ
高橋邦武 議員

暮らし・建設

問 河川の治水対策の推進を

答 優先箇所を有利な財源で実施

議員 集中豪雨による洪水被害を防止するため、管理河川の浚渫・河道掘削・伐木処理などの治水対策をどのように進めていくのか。

町長 町が管理する準用河川20のうち、19河川は県が砂防指定しているため、伐木や堆積土砂の浚渫を県に要望している。

町では、住家や農地に影響が生じる可能性があり、危険度が増している箇所を優先して事業を実施しており、財政的に有利な起債を活用し、令和2年度から13河川の浚渫、河道整正を行っている。

今後も引き続き、同様の対応方針のもと、有利な財源見通しを得て、事業を実施していく。

デジタル等の技術の活用を

議員 インフラの老朽化に対応するため、AI（人工知能）や衛星データによる劣化レベルを数値で表す診断、ドローンによる点検など、デジタル等の技術活用をどのように図っていくのか。

町長 町の道路台帳をデジタル化しており、令和7年度は橋梁点検事業にドローンを活用している。

上下水道関係では、リアルタイム監視システムを導入し、管路台帳のデジタル化にも対応している。

「美郷町DX推進基本計画」にインフラ老朽化対策の項目を追加し、維持管理

に対応するとともに、国や県と情報の共有に努め、新たな技術情報や対応を意識していく。



ドローンによる橋梁点検

【他の質問】

- ・道路網整備の推進状況
- ・水道施設整備の推進

一般質問 (9月定例会)



は せ が わ ゆ き こ
長谷川幸子 議員

福祉健康

問 「どこシル伝言板」の導入を

答 現行の取り組みと比較検討

議員 認知症やその疑いのある方の行方不明者が増えている。

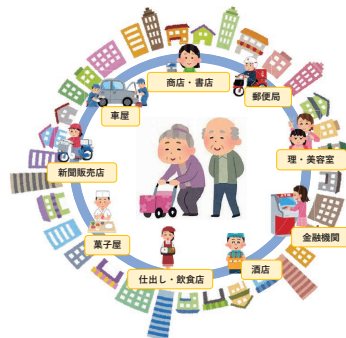
認知症の方が行方不明になっても連絡が取れるように「どこシル伝言板」を導入している自治体が増えている。事前に認知症の方の衣服などにQRコードを貼り付けておき、発見者がスマートフォンで読み取ると家族へ直接メールが自動送信され、専用の伝言板で連絡を取り合うことができる。利用状況は自治体と即時共有される。

認知症の方の命を守り、その家族の安心のため導入すべきではないか。

町長 町では認知症の早期発見のため、町内74事業所より登録をいただき、普段の仕事の中で地域の高齢者を見守り、気がかりなことを感じた場合

に連絡をいただく「気づきの輪」を実施している。町社会福祉協議会では、町内の企業や個人約250団体の加入のもと、「認知症SOSおたすけネットワーク」を設立し、町全体として認知症の方を見守るシステムが構築されている。

「どこシル伝言板」のQRコードの貼りつけにより他者に認知症と知られることや、それに伴う各種危険性への認識が必要なことなど、難しい側面の整理や運用上の課題について、導入自治体の状況把握を行った上で、町内の現行の取り組みと比較検討を行い、導入の是非を決めていく。



美郷町認知症早期発見事業
「気づきの輪」

一般質問 (9月定例会)



い ず み わ こ
泉美和子 議員

行財政全般

子育て

問 令和7年度中に学校給食費の無償化を

答 恒久的な財源確保が課題

議員 物価高騰が続き、住民の暮らしは厳しくなっている。国の予算待ちではなく、大仙市のように令和7年度中に学校給食費の無償化を実施し、保護者の負担軽減を図るべきではないか。

町長 課題は恒久的な財源確保。国の負担割合など、具体的な内容が見えてきた段階で検討していきたい。年度途中からの実施はありえず、仮に実施するとした場合は新年度からとなる。



国保税子どもの均等割を無料に

議員 国民健康保険には、他の健康保険にはない「均等割」の仕組みがあるため、家族の人数が多いほど保険税が高くなる。収入のない子どもにもかかる子どもの均等割は、子育て支援にも、子どもの貧困対策にも逆行する。全国では、子どもの均等割を独自に軽減する自治体が広がっている。物価高騰が続き暮らしの困難さが増している中、本町でも18歳以下の子どもの均等割を無料にすべきではないか。

町長 子育て支援分野については、国が新たに創設する子ども・子育て支援金制度や、町の子ども医療費助成など幅広く支援策を講じてきているので、18歳以下の子どもの均等割をすべて免除することは、現在のところ考えていない。

【他の質問】
・町長の政治姿勢

一般質問 (9月定例会)



いとう ふくあき
伊藤福章 議員

暮らし・建設

問 社会資本整備の 地域バランスは

答 地域バランスにも配慮し整備

議員 町長は合併当時、町村間の均衡ある発展に取り組むと語られていたが、20年が経ち、不均衡は解消されたのか。

町長 目に見える社会資本の整備水準を町内全体で一定水準に持っていくことも必要との観点から、居住の基盤となる町内道路や上下水道の整備、学校を含む公共施設の再編統合をはじめとする公共施設の整備などについて、**地区のバランスにも配慮し事業を推進してきた。町の均衡ある発展につながったと認識**している。

仙南地区水道管の更新は

議員 仙南地区上水道は、間もなく布設して40年となる。布設替えも目前に迫っているが、この事業の経費について試算しているか。工事費の高騰もあり、水道料金の見直しも考えられるのではないかと。

町長 水道事業における施設更新等の費用は、利用者負担が原則である。現段階での事業費は、積算単価で85億円と試算している。**近い将来、水道料金の見直し検討は必須**であると考えている。



水道工事

クイズ

美郷町議会の現在の議員数は

〇〇人

〇の中だけお答えください

応募方法

必要事項(氏名、住所、年齢、クイズの答え、アンケート)を記入のうえ、はがきかメールにてご応募ください。正解者の中から、抽選で粗品を差し上げます。(若干名、18歳以下優先枠あり)

当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募の注意

☆応募専用はがき：85円切手を貼ってください。
☆官製はがき：アンケートも忘れずにご記入ください。
☆応募はお一人様1通とさせていただきます。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

議会事務局メールアドレス

gikai@town.misato.akita.jp

締切日

令和7年11月30日(当日消印有効)

85号の正解は、約 **[25]** 万人でした

クイズの答え

美郷町議会の現在の議員数は

問 〇〇人

議会に関するアンケート

問1 議会を傍聴したことがありますか？

① ある ② ない

どちらかに〇印をお願いします。

感想等自由記載欄



議 会 メ モ

掲載記事以外の議案等（主なものを抜粋）

● 9 月定例会

【専決処分の承認】

一般会計補正予算（農業渇水対策支援事業）の執行

【工事請負契約の変更】

旧わくわく園跡地等宅地造成工事（金額を519万円増の7009万円、完成期限を令和7年11月28日に変更）

【条例の一部改正】

- ・美郷町議会委員会条例
- ・美郷町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例
- ・美郷町職員の育児休業等に関する条例及び美郷町水道事業に従事する職員の給与の種類及び基準に関する条例

【人権擁護委員の推選を可決】

高橋信雄氏（再任）、下田亮氏（再任）

【令和6年度決算】

「みさと議会だより87号」にて詳しく報告

議会定例会 傍聴にお越しくささい

9月定例会の一般質問には、たくさんの方が傍聴に来てくれました。

次の定例会は、12月の開会予定です。詳しい日程は、11月下旬に決定しますので、美郷町テレビ回覧板、町ホームページ、SNS等をご覧ください。



読者の声

みさと議会だよりのリニューアルにあたり、たくさんのおハガキをいただきました。
貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。

■カラー版でとても見やすく、それぞれの議員の方々の議会での活動内容がわかりやすかったです。

■最初にページをめくる時に戸惑ってしまいました。逆になったのですね。慣れれば大丈夫でした。読みやすいと思います。

■大事な部分にはアンダーラインを引くなど工夫されており、紙面が明るくてとても見やすいです。

■写真が増えて読みやすくなったと思います。

活動記録

- 8/29 議会定例会（～9/9）
- 9/4 総務産業常任委員会
- 9/5 決算特別委員会
議会広報常任委員会
- 10/6 臨時会
- 10/9 議会広報常任委員会
- 10/14 議会運営委員会
- 10/15 議会広報常任委員会



「みさと議会だより」次回87号は12月1日の発行です。

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp>
印刷・製本/株式会社三森印刷

きりと線

郵便はがき

85円切手を
貼って下さい美郷町土崎字上野乙 170-10
美郷町議会事務局

議会だより係

きりと線

ふりがな 氏 名		年齢	歳
住 所	〒		
電話番号			